

平成 26 年度 「地域共生型社会推進事業助成金」 第二回交付決定事業の概要

・助成申請 17 件の中から助成金審査委員会で審査を重ねて選定頂き、助成金予算（3000 千円）を増額して、下記の 6 件を助成対象事業として交付しました。

・平成 26 年 8 月 5 日に助成金交付式を行い、黒田理事長から贈呈しました。

所在地	助成対象者	助成事業名	助成金額	合計	助成事業概要
大津市	京都大学大学院 医学研究科 青山 由布子	「母親がとらえる重症心身障害児への短期入所の影響」を明らかにする研究	H26 年度 285 千円 H27 年度 — H28 年度 —	285 千円	重症児・者 本人を視点にした取り組みで、今までになかった研究事業。
大津市	滋賀医科大学 地域周産期医療学講座 越田 繁樹	胎動カウントの地域普及とその啓発	H26 年度 300 千円 H27 年度 300 千円 H28 年度 300 千円	900 千円	滋賀県の周産期死亡率は全国的にも高く、その改善が喫緊の課題となっている。全国でも県域を対象とした取り組みはない。
甲賀市	NPO 法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじー 理事長 小野 和雄	甲賀圏域における権利擁護支援システムの構築	H26 年度 300 千円 H27 年度 300 千円 H28 年度 300 千円	900 千円	第三者による後見人制度は今後ますます増えると思われ、支援制度構築のための先駆的な事業。
大津市	石山団地の“共に生きるまちづくり”委員会 世話役 杉本 正光	高齢化の進む石山団地の“共に生きるまちづくり”推進事業	H26 年度 900 千円 H27 年度 — H28 年度 —	900 千円	高齢化という地域の課題を知恵を出し合い解決しようとするもので、喫緊の課題に取り組む事業
東近江市	TEAM CHAKKA 代表 西村 俊昭	地域共生型の着火剤作りによる就労支援事業	H26 年度 200 千円 H27 年度 300 千円 H28 年度 300 千円	800 千円	引きこもりなど障がい者手帳を持たない若者を支援するもので、見過ごされがちな者に視点を当てた事業。
大津市	滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科 学科長 小山内 幸治	大津高齢者産業クラスター形成プロジェクト —お年寄りが安心して暮らせるまちを目指して—	H26 年度 250 千円 H27 年度 250 千円 H28 年度 —	500 千円	大津市における高齢者の暮らしと、それをささえる事業者の現状を調査し、高齢者産業クラスターの現状を分析し、地域社会の仕組み作りに貢献しようとする研究。

合計 6 件

4,285 千円

